

平成 30 年 6 月 18 日(月曜日)、佐世保港前畑岸壁にて、西九州ルートで使用するレールをポールトレーラーに積み込む作業が公開されました。

北九州市の製鉄所で製造されたレールは海上輸送され佐世保港に貯積されていましたが、佐賀県嬉野市において軌道工事基地の整備が整ったことから、西九州ルートで初めてレールの陸上輸送が開始されたものです。

レールの陸上輸送は、ポールトレーラーに長さ 25m(1.5t/本)のレールを 13 本ずつ積み込み、輸送されます。

長崎県内の軌道工事基地にも順次陸上輸送される予定であり、今後は長崎港にも海上輸送され貯積する計画だということです。



【貯積されたレール】



【レール積込作業】